

昭島市の未来を見据えての、市政運営と教育施策について



自由民主党昭島市議員 三田 俊司 議員

質問 昭島市の未来を創造していくのか。

市長 住宅都市としての発展に向けた快適なまちづくりを進めるとともに、様々な側面からの施策展開により、多様性と意外性に富んだまちづくりを進め、誰もが昭島好きと思ってもらえる、楽しいまち昭島を築いていく。

質問 可燃ごみ処理施設の整備について、当面は清掃センターの延命化を行うこととなったが、具体的な検討や整備等に10年かかると予想すると、今後5年以内にある程度の方向性を出すべきと考える。所見は。

市長 単独処理の継続、広域化による共同処理への移行、新たな処理方法など、あらゆる選択肢を排除せず、将来的な展望について、検討を重ねている。更なるごみの減量、資源化を推進し、現施設の安定稼働の確保に努める中で、ごみ処理行政の未来を早期に決定できるように、取り組んでいきたい。

質問 公共施設等の修繕や更新、様々な自然災害への対応や復旧、高度化への多様な整備について、当面は清掃センターの延命化を行うこととなる中、持続可能な行政運営が求められている。今後の人口減少を見据え、どのような財政を見通し、行政運営を行っていくのか。

市長 喫緊の課題である公共施設の老朽化への対応や、遊休地の売却等による財源確保などに努めるとともに、行政改革推進プランに基づいた取り組みを進め、財政環境は引き続き厳しいと予想されるが、職員一丸となり、自主自立の行政運営の確立に全力で取り組んでいく。

質問 子どもたちは昭島市、そして我が国の未来を担う宝である。これからの時代をより良く、一人ひとりが夢を持って幸せな人生を送るために、社会に貢献できる大人に育ってほしいと願う。学校教育における確かな学力の定着、豊かな心の醸成、健康やかな体の育成について、児童・生徒をどのように育て、見守っていくのか。

教育長 知・徳・体をバラバラに育てていくのではなく、社会の持続的な発展に貢献する力を培っていくことが重要と考えている。楽しい学校づくりを基礎とし、教育施策の一つひとつについて、教育委員会と学校が一体となつて着実に推進していく。また、各学校や家庭、関係

機関などと緊密に連携し、一人ひとりに即した支援の充実を図っていく。

質問 市民の生活を向上させるためには、心と体の充ち足が大変重要であり、そのための生涯学習の位置づけは、元気都市あきしまの根幹を担う施策であると考えている。市民が生き生きと自分らしく暮らすための生涯学習について、所見は。

教育長 これまでも個々のライフステージに合った学びの機会を提供し、生涯学習の推進に努めてきた。今後は、アキシマエンスを核として、真の心の充足が得られるような学びを支援し、市民が生き生きと暮らす未来を創造していく。

市長 長期的な資金収支の計画のもと、東西配水場の更新や北部配水場の整備などに着実に取り組み、健全な運営を推進してきた。

質問 学校教育について、英検など各種検定試験の受験料助成制度を創設してはどうか。

教育長 財政状況や他市の状況も踏まえながら、創設の可能性について検討していきたいと考えている。

質問 昨年の台風により、大神公園とくじら運動公園に甚大な被害が発生し、復旧に多額の費用負担が生じた。気候変動の影響で、今後同様の状況が発生することは想定されるため、大神公園とくじら運動公園以外の運動場を確保すべきでは、どうか。

教育長 用地の確保や整備などの費用対効果等を考慮し、公共施設全体の在り方を含め検討していきたい。

1面下段より
シマエンスに移って庁内連携が受けやすくなるのか。

質問 相談を受けた窓口で適切な対応が図られるよう、庁内連携を強固にしていこう。

質問 新型コロナウイルスの影響で市民税等の減が危惧されるが、施政方針の見直しも含め覚悟が必要では、ないか。

答弁 市民サービスの低下を招かないという覚悟を持ち、しっかりと対応したい。

質問 児童センターについて、①民間委託の経緯は。②賃を落とさない形で委託だったが職員が辞める等問題が多い。直営に戻すべき。

答弁 ①経費等の理由だが、基本的には委託において賃を落とさないような形で実施している。②実態を調査し、対応していきたい。

質問 産後ケア事業について、①実施主体は。②納付書による自己負担金事前払いは利用がしにくいのでは、ないか。

答弁 ①市が直営で実施している。②自宅で申請を受け、その場で代金を頂く簡便な対応にも努めている。

質問 プラスチックの毎週収集を公表したが、実現できず納得できない。考えは。

答弁 引き続き収集業者と話し合いを重ね、実現できる方法を考えていきたい。

質問 タブレット端末について、①国のGIGAスクール構想に沿った活用方法知を行っているか。

答弁 ①健康面への影響をどのように検証していくのか。

答弁 ①まだ研究段階だが、ICTの活用能力を育てていくことは必要と考える。

質問 ②国の研究結果を注視しつつ、研究を進めていきたい。

令和2年度施政方針について



自由民主党昭島市議員 赤沼 泰雄 議員

質問 地球温暖化対策について、各国が取り組みを加速させなければいけない状況である。市として、気候非常事態宣言を行う考えは。

市長 現在策定中の次期環境基本計画とその対応施策の内容を踏まえ、前向きに検討していきたい。

質問 財源不足を解消し、公共施設の適正な保有量の確保のため、施設の面積の縮減は待たないの課題で

ある。個別施設計画の策定により、具体的に進むのか。

市長 最小の経費で最大の効果を上げるように判断すべき課題と捉えており、施設の更新時期が一定の時期に集中しないように可能な限り延命化を図り、総合的に判断していきたい。

質問 小中学生へのコンピュター1人1台環境を整備するなどの国のGIGAスクール構想について、期待される効果は。

市長 必要性は認識しており、検討を進めていく。当面は移動図書館の配置等に対応していく。

質問 プラスチックごみの毎週収集について、収集力アップを見直す中で検討するが、進捗状況や成果は。

すべしと考えるが、所見は。

市長 引き続き、毎週収集について検討していく。

質問 快適な都市空間の整備について、実情に応じた適切な公共交通の在り方を協議する、地域公共交通会議を設置する考えは。

市長 他自治体の議論を検討し、設置の必要性について調査・研究していきたい。

質問 昭島市のまちづくり、に欠かせないものとして、アキシマクジラが挙げられるが、クジラのデザインの新クタイを作成しては、どうか。

市長 クジラで昭島市をPRしていくことは意義があると考えている。関係機関と調整を図り、どのような対応が効果的か研究していく。

質問 現在の水道は第二次水道事業計画に基づいて事業が推進されているが、進捗状況や成果は。

日本共産党昭島市議員

質問 新型コロナウイルスに関する問題について、税務部門や商工部門等でチームをつくり、市民の相談に応える体制をつくっては、どうか。

答弁 国の経済対策や税法改正等も見極めながら、総合的に考える必要がある。

質問 横田基地での巡回飛行訓練が市の東部まで及んでいる。市として騒音測定器固定設置に取り組みべき。

答弁 国の責任において実施するよう、要請している。

質問 女性活躍支援担当が新たに配置されるが、中長期的に目指しているものは、ないか。

答弁 女性共同参画に関わる組織と男女共同参画を一緒にすることで、手厚く対応していきたいと考えている。

質問 市内の主要な施設に、人工呼吸器使用患者の自家発電装置を設置すべきでは、ないか。

答弁 医療機器にも対応できる蓄電池の設置を検討しているところである。

質問 事業系ごみの搬入量が再び増加しているが、ごみ減量への今後の方針は。

答弁 清掃センターを修繕しながら使用し続ける中で、事業系ごみの搬入手数料の改定を検討していきたい。

質問 緊急対策事業資金金融あっせん制度について、対象となる事業所等への周知を行っているか。

答弁 現在の経済状況を踏まえ、積極的に中小企業へのPRに努めていきたい。

質問 私道整備事業費について、前年度よりも増額と